



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8789 URL <https://www.fgi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 千田 高 (TEL) 050-5864-3978
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	2,716	19.5	720	—	699	—	503	—
2022年9月期第1四半期	2,272	12.5	62	18.3	39	328.0	△47	—

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 556百万円(—%) 2022年9月期第1四半期 8百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	2.50	2.49
2022年9月期第1四半期	△0.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	17,531	7,905	40.3
2022年9月期	17,933	7,842	36.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 7,064百万円 2022年9月期 6,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2023年9月期の期末配当予想は未定としております。

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	8.6	1,400	138.2	1,400	158.8	1,000	467.8	4.97

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2023年9月期第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	201,305,200株	2022年9月期	201,295,200株
2023年9月期1Q	20株	2022年9月期	20株
2023年9月期1Q	201,298,821株	2022年9月期1Q	201,134,050株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、投資銀行事業において事業承継問題を抱える企業に投資をはじめとした様々なソリューションを提供するプライベートエクイティ事業を推進しました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、㈱ライツ・アンド・ブランズを連結の範囲から除外し持分法適用関連会社としたものの、複数の事業承継案件が進捗し投資収益と業務受託収益を計上したことにより、売上高は2,716百万円（前年同期比19.5%増）、売上総利益は1,597百万円（前年同期比78.1%増）となりました。販売費及び一般管理費は、事業拡大のための人員拡充や一部業務の外部委託の増加などにより前年同期比5.1%増の877百万円となりましたが、営業利益は売上総利益の増加により720百万円（前年同期比1,046.7%増）、経常利益は699百万円（前年同期比1,673.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は503百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

（単位：百万円）

	2022年9月期 第1四半期 連結累計期間	2023年9月期 第1四半期 連結累計期間	増減額
売上高	2,272	2,716	443
投資銀行事業	1,058	1,989	931
公共コンサルティング事業	108	90	△18
エンタテインメント・サービス事業	1,181	713	△468
消去	△76	△77	△1
売上総利益	897	1,597	700
投資銀行事業	574	1,446	872
公共コンサルティング事業	54	48	△5
エンタテインメント・サービス事業	301	134	△166
消去	△32	△32	0
営業利益 (セグメント利益又はセグメント損失(△))	62	720	657
投資銀行事業	198	933	734
公共コンサルティング事業	8	△7	△16
エンタテインメント・サービス事業	36	△18	△54
消去又は全社費用	△180	△187	△6
経常利益	39	699	660
税金等調整前四半期純利益	38	684	646
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	503	550

セグメント別の業績は以下のとおりです。なお、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 投資銀行事業

投資銀行事業では、プライベートエクイティ事業において全国の大都市圏における複数の事業承継案件に、投資を中心とする幅広いソリューションを提供し、投資収益と業務受託収益を計上しました。また、事業承継案件では対象企業を買収する当社出資ファンドによる新規投資も順調に進みました。アセットマネジメントにおいては、海外投資家から物流施設投資のアセットマネジメントを新規受託し収益を計上しておりますが、これによりアセットマネジメント受託資産残高は前連結会計年度末比7.3%増の602億円となり、ストック型収益の基盤が強化されました。また航空機アセットマネジメントにおいては、コロナ禍の影響により機体検査や機体返還などの技術サービス提供の依頼が好調に推移しました。

以上の結果、投資銀行事業の売上高は1,989百万円（前年同期比88.0%増）、セグメント利益は933百万円（前年同期比369.7%増）となりました。

② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、財務書類作成のコンサルティングについて大規模自治体を軸に営業活動を推進していますが、令和4年度（2022年4月～2023年3月）における都道府県の財務書類作成受託件数は前年度と同じく7件、政令指定都市・特別区については2件増加し11件となり堅調に推移しました。また、公共施設等総合管理計画の見直しに関しては、総務省は見直しが未完了の地方公共団体は2024年3月末までに完了とすることとしているため、見直しを支援する業務について積極的に営業活動を推進しました。

公共コンサルティング事業の売上高は、国が各自治体に配布した公会計ソフトのサポート終了に伴って発生した提携先のソフト販売があった前第1四半期に比べ16.6%減少し90百万円となり、セグメント損益は受注拡大のための先行投資により費用が増加した結果、7百万円のセグメント損失（前年同期は8百万円の利益）となりました。

③ エンタテインメント・サービス事業

メッツァ（メッツァビレッジ及びムーミンバレーパーク）は、コロナ禍からの正常化が徐々に進行しておりますが、年間で来園者が最も多い月である11月において週末や祝日に降水日が多く、来園者数は前年同期比3.8%減の21万人となりました。一方、ムーミンバレーパークについては2年振りの夜のイベント「イルモリノオト」を開催したことにより、来園者数はリニューアルによる11日間の休園があった前年同期と比べて1割強増加しました。当イベントによる売上と2022年3月に開始したムーミン公式オンラインショップの物販売上が加わったことにより、メッツァ関連の売上高は、前年同期比3.4%増の713百万円となりました。

ライセンス関連については、同業務により前第1四半期に売上高491百万円を計上していた㈱ライツ・アンド・ブランドズを当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めることとしたため、ライセンス関連を行う同社業績については当セグメントでは計上せず、営業外損益において持分法による投資損益として計上しております。

以上のとおり、メッツァ関連においては売上高が増加し2022年12月のムーミンバレーパークのリニューアルにより固定費が前年同期比で減少しておりますが、㈱ライツ・アンド・ブランドズを連結の範囲から除外したことにより、エンタテインメント・サービス事業の売上高は713百万円（前年同期比39.6%減）、セグメント損失は18百万円（前年同期は36百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より2.2%減少し、17,531百万円となりました。これは主として、営業投資有価証券が368百万円、㈱ライツ・アンド・ブランドズの連結除外により投資有価証券が431百万円増加したものの、現金及び預金が561百万円、ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却等により有形固定資産が89百万円、㈱ライツ・アンド・ブランドズの連結除外により無形固定資産のその他に含まれる商標権が333百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より4.6%減少し、9,626百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が282百万円増加したものの、賞与引当金が23百万円、長期借入金が119百万円、固定負債のリース債務が60百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より0.8%増加し、7,905百万円となりました。これは主として、非支配株主持分が416百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が503百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 実績	2023年9月期 連結業績予想	進捗率
売上高	2,716	10,100	26.9%
営業利益	720	1,400	51.5%
経常利益	699	1,400	50.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	503	1,000	50.3%

2023年9月期の連結業績予想は上記の通りであり、2022年11月8日付の2022年9月期決算短信で公表した連結業績予想に変更はありません。

当第1四半期は、投資銀行事業において、プライベートエクイティ事業として取り組む複数の事業承継案件が進捗し、航空機アセットマネジメントも伸長したことにより、業績予想値に対し各段階利益は大きく進捗しました。第2四半期以降も事業承継案件の順調な進捗を見込んでおりますが、今後の新規案件の獲得や組成状況などを慎重に見極めるため、現時点では業績予想値を変更いたしません。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,375,927	1,813,984
受取手形、売掛金及び契約資産	1,113,702	1,117,632
営業投資有価証券	2,482,469	2,850,721
営業貸付金	371,665	356,715
販売用不動産	4,057,167	4,057,167
商品	133,602	151,060
その他	593,045	535,425
貸倒引当金	△104,772	△107,313
流動資産合計	11,022,806	10,775,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,390,285	5,390,760
減価償却累計額	△717,453	△764,036
建物及び構築物（純額）	4,672,832	4,626,723
その他	1,205,951	1,162,295
有形固定資産合計	5,878,784	5,789,018
無形固定資産		
のれん	117,736	111,870
その他	514,765	44,996
無形固定資産合計	632,501	156,866
投資その他の資産		
投資有価証券	105,581	536,689
長期貸付金	35,004	32,921
繰延税金資産	11,364	—
その他	257,016	250,704
貸倒引当金	△10,047	△10,041
投資その他の資産合計	398,918	810,273
固定資産合計	6,910,204	6,756,158
資産合計	17,933,011	17,531,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	248,274	531,049
1年内返済予定の長期借入金	529,252	444,663
未払法人税等	133,150	92,891
リース債務	260,095	262,506
賞与引当金	191,888	168,711
その他	1,225,164	798,330
流動負債合計	2,587,825	2,298,151
固定負債		
長期借入金	7,184,342	7,065,123
リース債務	158,022	97,848
繰延税金負債	19,737	17,657
退職給付に係る負債	110,067	112,987
その他	30,322	34,655
固定負債合計	7,502,492	7,328,271
負債合計	10,090,317	9,626,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,471,266	6,471,504
資本剰余金	4,996,716	4,996,954
利益剰余金	△4,943,941	△4,440,516
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,524,040	7,027,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,680	9,734
為替換算調整勘定	26,158	26,694
その他の包括利益累計額合計	61,839	36,428
新株予約権	56,359	57,220
非支配株主持分	1,200,454	783,540
純資産合計	7,842,693	7,905,130
負債純資産合計	17,933,011	17,531,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,272,272	2,716,112
売上原価	1,375,010	1,118,382
売上総利益	897,261	1,597,730
販売費及び一般管理費	834,437	877,310
営業利益	62,824	720,419
営業外収益		
受取利息	243	321
持分法による投資利益	—	10,440
助成金収入	4,421	78
その他	3,390	2,146
営業外収益合計	8,055	12,986
営業外費用		
支払利息	29,906	32,845
持分法による投資損失	315	—
その他	1,201	699
営業外費用合計	31,422	33,545
経常利益	39,457	699,860
特別利益		
関係会社清算益	—	96
新株予約権戻入益	91	273
特別利益合計	91	369
特別損失		
関係会社出資金評価損	999	—
固定資産除却損	—	15,673
特別損失合計	999	15,673
税金等調整前四半期純利益	38,548	684,556
法人税、住民税及び事業税	38,947	103,338
法人税等調整額	△13,569	—
法人税等合計	25,378	103,338
四半期純利益	13,170	581,217
非支配株主に帰属する四半期純利益	60,691	77,793
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,521	503,424

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	13,170	581,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,246	△25,946
為替換算調整勘定	△7,682	1,227
その他の包括利益合計	△4,436	△24,718
四半期包括利益	8,734	556,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,935	478,013
非支配株主に係る四半期包括利益	57,670	78,485

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する前提についての重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・ サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	999,518	105,514	1,167,239	2,272,272	—	2,272,272
セグメント間の 内部売上高又は振替高	58,624	3,000	14,516	76,141	△76,141	—
計	1,058,143	108,514	1,181,756	2,348,414	△76,141	2,272,272
セグメント利益	198,704	8,952	36,020	243,677	△180,852	62,824

(注) 1 セグメント利益の調整額△180,852千円には、セグメント間取引消去48,082千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△228,934千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・ サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,932,664	87,502	695,944	2,716,112	—	2,716,112
セグメント間の 内部売上高又は振替高	57,100	3,000	17,581	77,682	△77,682	—
計	1,989,765	90,502	713,526	2,793,794	△77,682	2,716,112
セグメント利益 又は損失(△)	933,300	△7,527	△18,247	907,524	△187,105	720,419

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,105千円には、セグメント間取引消去54,210千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△241,316千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。